

ステークホルダーの皆様へ

材料技術を起点に独創の技術で エレクトロニクスの発展と地球環境との調和を目指す

当社の原点でもあり、当社が世に初めて送り出したフェライト。この日本発の磁性材料は、電気・電子機器になくてはならない基幹部品として、今なお重要な役割を果たしています。

フェライトに代表されるように、当社は独自性ある製品を提供していくことでエレクトロニクス産業に貢献し、社会的責任を果たすことについても積極的に取り組んでいます。社是である「創造によって文化、産業に貢献する」は、まさに私たちの経営姿勢を表現したものであり、CSRそのものと言えます。

携帯電話、パソコン、薄型テレビ、そして自動車。これらの目覚ましい進化は、人々の夢を次々と実現させ、私たちの暮らしを豊かにしてきました。しかしその一方で、環境への負荷が大きく問題化するようになり、深刻さが地球規模で広がりつつあります。

環境の世紀と呼ばれる今日、電子部品メーカーに課せられた使命は、一段とその重みを増しています。品質、性能の向上はもちろんのこと、

たとえば、一つひとつの部品において省エネ対応を推進すること。製造工程でのエネルギー消費を削減すること。エレクトロニクス産業の川上として、製品から有害物質を追放することなど。あらゆる企業活動の面から、地球環境との調和が求められているのです。

当社の強みは、一言でいいますと材料からの一貫生産にあります。材料段階からの研究開発と、その材料の特性を最大限に引き出しながら、製品をつくり上げる高度なプロセス技術によって、今までにない価値ある製品の創出を可能にします。そうした材料からのアプローチ、独創性によって、社会がかかえるさまざまな課題を解決できると信じています。

価値創造の源泉は、モノづくりの現場にあります。現場というのは製造現場に限らず、開発や営業、スタッフの現場も含めたすべての企業活動をさします。ですから現場の一人ひとりの能力と自発性を高め、モノづくり力を強化していくことが何にも増して重要です。

こうした思想のもと、TDK企業倫理綱領に基づいた公正で透明な企業活動を実践し、コーポレートガバナンス(企業統治)を充実させることが、いつの時代でも社会に貢献していくための根源であると考えています。

当社は今後も世界的な視野にたつて成長を続け、お客様、取引先、株主、従業員、地域社会というすべてのステークホルダーの皆様信頼される企業を目指し、着実かつ誠実に経営に取り組んでまいります。ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

この報告書は、当社が社会と環境との関わりをどのようにとらえ、企業の社会的責任をいかに果たそうとしているかを取りまとめたものです。ステークホルダーの皆様は、ぜひご一読ください。当社の企業価値を高めるためにも、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

TDK株式会社
代表取締役社長

上 釜 健 夫

